

記者発表資料

平成28年4月26日
九州地方整備局
九州技術事務所

[速報26]

「平成28年熊本地震」における支援対応について ～現在の九州技術事務所での支援状況をお知らせします～

○平成28年4月26日 15時 現在の状況

○全国の整備局から派遣された無人化施工機械（遠隔操縦式バックホウ）が、南阿蘇村立野地区の大規模崩落箇所で稼働しています。

今回は、無人化施工のしくみについて説明します。

まず、バックホウには、車載カメラ①がついています。車載カメラで写している範囲は、通常、有人でバックホウを動かす場合のオペレーターの視界に合うようにセットしています。

このほか、バックホウの周囲を写す固定型のカメラ②が設置されています。

これらのカメラで写された映像は、無線や有線を使って、遠く安全な場所に離れた操作室まで送られ、備え付けのモニターに映し出されます。

操作室にいる操作員は、このモニター映像を見ながら、上下左右のレバーや操作ボタンなどが付いたコントローラーを操作して、無線によりバックホウを操縦します。

→ 【模式図、写真】

問い合わせ 国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所
〒830-8570 久留米市高野1丁目3番1号
TEL 0942-32-8245（代表）
<広報班>

副所長 石田 直己

無人化施工（遠隔操縦式バックホウ）のしくみ

